

主 编：赵立红 王 霞

高等学校日语教材

# 大学日语阅读

下



大连理工大学出版社

高等学校日语教材

# 大学日语阅读

下

主编：赵立红 王霞  
副主编：李晓霞 徐义红 邢俊杰 戚畅



## 图书在版编目(CIP)数据

大学日语阅读. 下 / 赵立红, 王霞主编. — 大连 :  
大连理工大学出版社, 2011. 1  
高等学校日语教材  
ISBN 978-7-5611-5972-9

I. ①大… II. ①赵… ②王… III. ①日语—阅读教  
学—高等学校—教材 IV. ①H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2010)第 261490 号

大连理工大学出版社出版

地址:大连市软件园路 80 号 邮政编码:116023

发行:0411-84708842 传真:0411-84701466 邮购:0411-84703636

E-mail:dutp@dutp.cn URL:<http://www.dutp.cn>

大连美跃彩色印刷有限公司印刷 大连理工大学出版社发行

---

幅面尺寸:185mm×260mm 印张:15.5 字数:351 千字

印数:1~3000

2011 年 1 月第 1 版

2011 年 1 月第 1 次印刷

---

责任编辑:宋锦绣

责任校对:赵玲玲

封面设计:张 虎

---

ISBN 978-7-5611-5972-9

定 价:27.50 元

# 前言

随着国际化社会的到来以及中日两国间交流领域的不断扩大，社会对日语专业人才的需求也发生了很大的变化，不仅要求具备较高水平的听、说、读、写的基本语言能力，还要具备跨文化交际的高水平日语应用能力。

为了适应社会发展的需要，并结合2010年7月开始实施的新日本语能力测试的考核标准（新测试在考核日语相关知识的同时，将重视考察学习者的实际运用日语的能力），经过了一定范围的社会调研和考察后，我们编写了此书。

本书编写的目的，旨在学习日语时，理解掌握文字、词汇、语法等语言知识固然重要，但更重要的是如何利用语言知识加深对日本文化的理解，进而达到国际化交流的目的。

《大学日语阅读》分为上、下册。分别从政治、经济、文化、社会等领域中，精选了40篇相当于新日本语能力测试1、2级水平的阅读文章。相信通过这些文章的阅读和练习，学习者在扩大词汇量、提高阅读能力、掌握一定读解技巧的同时，也会加深对日本政治、经济、社会、文化知识的理解。为了帮助学习者更好地理解相关内容，每课还设有「本文」「質問」「新出単語」「重要表現」「練習問題」等栏目。

本套阅读教材被评为大连交通大学2010年特色立项教材。

参与本书编写的作者全部为日语专业、具有多年教学经验的教学第一线的教师们。

尽管在编写过程中不断地修正推敲本教材，但因水平有限和经验不足，错误、疏漏在所难免，恳请各位专家、同行和使用者给予指正。大连理工大学出版社的编辑们为本教材的设计、定稿、出版付出了辛勤的劳动，在此表示衷心的感谢。

赵 立红

2010年12月1日

# 目 录

|                                 | 本文  | 新出単語 | 重要表現 | 練習問題 |
|---------------------------------|-----|------|------|------|
| 第21課 夢と気づけばコントロールできる .....      | 1   | 4    | 6    | 8    |
| 第22課 私の父と母 .....                | 10  | 13   | 15   | 17   |
| 第23課 文化の多様性 .....               | 19  | 22   | 23   | 26   |
| 第24課 「ガリヴァー」が示唆、長寿国・日本の憂い ..    | 28  | 31   | 33   | 34   |
| 第25課 ネットの倫理——自由な言論は責任が伴う .....  | 36  | 39   | 41   | 44   |
| 第26課 科学者たちも「ふつうの人」 .....        | 46  | 49   | 50   | 52   |
| 第27課 理想の食生活に近づけるコツ .....        | 54  | 57   | 60   | 63   |
| 第28課 幸せ大国をめざして .....            | 65  | 68   | 70   | 72   |
| 第29課 新型インフル、騒ぎ過ぎの代償 .....       | 74  | 78   | 78   | 80   |
| 第30課 日本に「明治維新」は再びやってこない .....   | 82  | 85   | 87   | 90   |
| 第31課 偽りのない文化を .....             | 91  | 94   | 96   | 98   |
| 第32課 教師の限界を知ろう .....            | 100 | 104  | 105  | 107  |
| 第33課 KY式日本語——ローマ字略語がなぜ流行するのか    | 109 | 113  | 114  | 117  |
| 第34課 「お金」と「時間」の関係あれこれ .....     | 119 | 122  | 124  | 127  |
| 第35課 「お祈りパンダ」ウイルス、中国で猛威をふるう     | 129 | 133  | 134  | 136  |
| 第36課 人は年月をかけて身につけた役割から急には逃れられない | 138 | 141  | 143  | 146  |
| 第37課 言語と道具 .....                | 148 | 152  | 153  | 155  |
| 第38課 個 性 .....                  | 157 | 161  | 162  | 165  |
| 第39課 「働きづめ」で得るもの、失うもの .....     | 166 | 170  | 171  | 172  |
| 第40課 ある不動産屋さんの話 .....           | 174 | 177  | 179  | 181  |

## 附 录

|               |     |
|---------------|-----|
| 一、参考译文.....   | 183 |
| 二、练习参考答案..... | 210 |
| 三、单词汇总.....   | 216 |

## 第21課

# 夢と気づけば コントロールできる

自分の好きな夢を見られる機械なんてありっこないと思っていたが、それが実在したのには驚いた。夢を自在にコントロールできるというのである。

「ドリームボージャー」というその装置を開発したのは、米国スタンフォード大学睡眠研究センターのステファン・ラバージュという学者。この人、「夢は自覚できる。自覚できればコントロールも可能だ」という説の持ち主で、持論を商品化したのがドリームボージャーというわけ。①何でも、アイマスクの中に薄い機械が入ったような装置とか。調べてみると、日本でも七～八年前まで売られていた。本当に謳い文句通りなら、どんな娯楽よりも魅力的ではないか。少なくとも人生の三分の一が思い通りになるのだ。そこで早速、扱っていた東京・八王子のMMエイトに聞いてみたが……。

「話題にはなりましたが、②売れ行きはパツとしませんでした。それでも、計二〇〇台くらいは売れたかな。値段は三万円前後。肝心の成果の方なんですけど、実際に夢をコントロールできた人は非常に少なかったようです」

さもありなん。さて、このドリームボージャーなる装置、一体どんなメカニズムで人間の無意識の世界に侵入するのかと興味津々だったが、フタを開けてみると意外と単純なもの。

好きな夢に導いていくのはあくまでも人間で、装置自体は「もしもし、これは夢なんですよ！」と眠っている本人にサインを送るだけ。例えていえば、うなされて苦しんでいるときに肩を揺すってくれる女房のような役割である。ただ、夢を見ていると③どうしてわかるのかがミソで、そこには睡眠の科学が生かされていた。

よく知られているように、睡眠状態には「レム睡眠」と「ノンレム睡眠」がある。レム睡眠は、身体は休息しているが脳は完全に眠りについていない状態。これに対してノンレム睡眠は、脳も身体も完全に緊張を解いて休んでいる状態をいう。夢を見たり、勃起したりするのはレム睡眠時だ。成人は一晚に一～二時間ほどレム睡眠に入るのだが、この間、瞼の下で眼球がせわしなく動くという特徴がある。ドリームボージャーはこれを利用した。

具体的には、装置に組み込まれた赤外線センサーが目玉の動きを感知すると、マスクの内側で赤色発光ダイオードが点滅する。と、レム睡眠中は脳がぼんやり起きているので、視界に赤い点滅光を感じた睡眠中の人は、「あっ、これは夢なんだな」と気づく。もちろん④そう気づくまでにはかなりの熟練を要するという。そうと気づけばしめたものだ。そこからは映画の脚本家が監督になったつもりで、自分が見たい方向に夢のストーリーを運んでいくことで、夢をセルフコントロールできるというのである。

例えば何者かに追われ、断崖絶壁から突き落とされる夢を見ていたとしても、夢と分かればもう怖いものなしだ。鼻唄でも口ずさみつつ、逆さ宙返りでダイブしてやろう。退屈極まりない夢を見ていたら、途中から美女にもてまくる夢に勝手に変えてやることも可能だ。

世の中には特別な装置を使わなくても、夢を自在にコントロールできる人がいる。私自身、年に何度かは自覚夢（夢と気づく夢）を見る。あまりに荒唐無稽な話だったり、場面転換が早過ぎると、「あっ、これは夢だな」と気づくのである。（⑤）、そこから先を組み立てていくのは至難の業だ。た

(平尾俊郎 『二十年後—くらしの未来図—』 新潮社による)

問五 ( ⑤ ) に入る言葉として最も適当なものはどれか。

1. ところが
2. つまり
3. しかし
4. それで

問六 この文章と合わないものはどれか。

1. レム睡眠は、身体は休息しているが脳は完全に眠りについていない状態である。
2. ノンレム睡眠は、脳も身体も完全に緊張を解いて休んでいる状態である。
3. 夢を見たり、勃起したりするのはレム睡眠時だ。
4. 成人は一晩にレム睡眠はノンレム睡眠より長い。

新出単語

|              |        |                                 |
|--------------|--------|---------------------------------|
| 自在〔じざい〕      | 【名・形動】 | 自由自在，自如，随意                      |
| ドリームボージャー    | 【名】    | 梦旅人                             |
| スタンフォード大学    | 【名】    | 斯坦福大学                           |
| 睡眠〔すいみん〕     | 【名・自サ】 | 睡眠                              |
| レム睡眠         |        | 快波睡眠                            |
| ノンレム睡眠       |        | 慢波睡眠                            |
| ステファン・ラバージュ  | 【名】    | 史蒂芬拉伯格 (Stephen LaBerge, Ph.D.) |
| 自覚〔じかく〕      | 【名・他サ】 | 自觉，认识到                          |
| 持論〔じろん〕      | 【名】    | 一贯的主张                           |
| アイマスク        | 【名】    | 眼罩                              |
| 謳い文句〔うたいもんく〕 | 【名】    | 吸引人的语句；响亮的口号                    |
| 娯楽〔ごらく〕      | 【名】    | 娱乐                              |
| 扱う〔あつかう〕     | 【他五】   | 经营；处理                           |
| 肝心〔かんじん〕     | 【名・形動】 | 首要；重要；关键                        |
| さもありなん       |        | 很可能是那样，理所当然                     |

|                |        |                 |
|----------------|--------|-----------------|
| メカニズム          | 【名】    | 机械装置；机制，途径      |
| 侵入〔しんにゅう〕      | 【名・自サ】 | 侵入，侵略；闯入        |
| 津々〔しんしん〕       | 【副】    | 津津              |
| フタ             | 【名】    | 盖，盖子            |
| フタを開ける         |        | 揭晓              |
| サイン            | 【名】    | 信号；暗号           |
| 女房〔にようぼう〕      | 【名】    | 妻子，老婆           |
| ミソ             | 【名】    | 大酱，豆酱；得意之处，独到之处 |
| 休息〔きゅうそく〕      | 【名・自サ】 | 休息              |
| 勃起〔ぼっき〕        | 【名・自サ】 | （医）勃起           |
| 瞼〔まぶた〕         | 【名】    | 眼睑，眼皮           |
| せわしい           | 【形】    | 忙碌，忙            |
| センサー           | 【名】    | 传感器，感应器         |
| ダイオード          | 【名】    | 二极管             |
| 点滅〔てんめつ〕       | 【名・自サ】 | （灯光）忽亮忽灭        |
| 熟練〔じゅくれん〕      | 【名・自サ】 | 熟练，熟习           |
| 脚本家〔きゃくほんか〕    | 【名】    | 剧作家             |
| しめた            | 【感】    | 好极了，太好了，太棒了     |
| セルフ            | 【名・接頭】 | 本身，自己，自我；（机）自动  |
| 断崖絶壁〔だんがいぜっぺき〕 | 【名】    | 悬崖峭壁            |
| 鼻唄〔はなうた〕       | 【名】    | 哼唱；哼着唱的歌曲       |
| 宙返り〔ちゅうがえり〕    | 【名・自サ】 | 翻筋斗，翻跟头         |
| ダイブ            | 【名・自サ】 | 跳水，潜水；俯冲        |

|                |        |              |
|----------------|--------|--------------|
| 荒唐無稽 [こうとうむけい] | 【名・形動】 | 荒诞无稽，荒谬      |
| 業 [わざ]         | 【名】    | 事情；事业，工作；行为  |
| ICチップ          | 【名】    | IC芯片         |
| こめかみ           | 【名】    | 太阳穴          |
| 誘導 [ゆうどう]      | 【名・他サ】 | 诱导，引导        |
| うけあい           | 【名】    | 保证，保管；一定     |
| エンターテインメント     | 【名】    | 娱乐，演艺        |
| 医療 [いりょう]      | 【名】    | 医疗           |
| いわく            | 【名】    | 曰，云，说        |
| フロイド           | 【名】    | 弗洛伊德（精神分析学家） |
| あながち           | 【副】    | 未必，不一定，不见得   |
| 夢物語 [ゆめものがたり]  | 【名】    | 虚无缥缈之谈，梦话    |

## 重 要 表 現

### 1 ～なんて

【接続】体言・用言基本形・格助詞＋なんて

【意味】“……之类的”，翻译成汉语时可以灵活处理。

【解説】表示轻蔑、不以为然、惊讶等语气。

☞ こんな天気の良い日に勉強なんてしたくない。/这么好的天气，我可不想学习。

☞ 彼の言うことなんて少しもあてにならない。/他说的话一点也不可靠。

☞ こんなところで出会うなんて偶然だね。/在这样的地方碰面真是巧合呀。

☞ あんな変な人となんて話したくない。/我不想和那样的怪人说话。

### 2 ～っこない

【接続】動詞連用形＋っこない

【意味】“不会……”“不可能……”等。

【解説】加强语气，表示前述事项成立的可能性几乎不存在。

☞ プロには勝てっこない。/不可能战胜职业选手。

☞ 私にあなたの気持ちなんかわかりっこない。/我不可能知道你的心情。

☞ 恋なんてできっこない。/不可能恋爱。

### 3 さもありなん

【意味】“很可能是那样”“理所当然”等。

【解説】惯用句。表示那样的事也是可能的。

☞ さもありなん、考えられることだ。/那是不难想像的事。

☞ 「遅い・まずい・汚い」ということであれば、外食産業の不振も、さもありなん、というところであろう。/如果是“慢、难吃、脏”的话，餐饮业的经营不良也是不难想像的吧。

☞ 彼女、上役と大喧嘩して退社したと聞いたが、気性の激しい彼女ならさもありなんという感じだね。/听说她跟上司大吵了一架而辞职了，但是如果是脾气暴躁的她，也是很有可能的。

### 4 あくまで（も）

#### (1)

【意味】“无论如何”“自始至终”等。

【解説】副词。表示强烈的意志。是一种比较生硬的表达方式。

☞ 国連はあくまでも平和的な手段でこの事件を解決すると考えている。/联合国始终认为要采用和平的手段来解决这个事件。

☞ この政党はあくまで穏健主義の方針を貫く政党である。/这支政党是一支自始至终都贯彻稳健主义方针的政党。

☞ 一部の政治家はあくまでも知らぬ存ぜぬで貫き通す。/一部分政治家自始至终坚持一问三不知的态度。

#### (2)

【意味】“终归”“到底”等。

【解説】副词。表示强烈的主张。

☞ 結婚するかしないかは、あくまでも個人の問題だ。/结不结婚终归是个人的问题。

☞ それはあくまでも理想論にすぎない。/那终归不过是一种理想。

☞ あくまでも仮の話だからあまり深刻になるなよ。/说到底这不是真的,别太认真了。

## 5 ～極まりない

**接続** 形容動詞語幹（なこと）・形容詞連体形こと＋極まりない

**意味** “极其……” “非常……” 等。

**解説** 表示达到了极限。是较郑重的书面语。另外，「～極まる」表达相同意思，但只能接在形容动词之后。

☞ 夜遅くまで繁華街にたむろしている高校生は不健全極まりない。/深夜还聚集在繁华街市的高中生极不健康。

☞ お客に対する口のききかたを知らない店員は本当に失礼極まりない。/不知道怎样跟顾客说话的店员真的是极为失礼。

☞ あそこの景色は美しいこと極まりないものだった。/那里的景色真是美极了。

## 6 ～捲くる

**接続** 動詞連用形＋捲くる

**意味** “拼命地……” “激烈地……” 等。

**解説** 表示一直持续某个动作。

☞ 休暇をとり捲くる若い社員に対して、どうしたらいいか。/对于总请假的年轻职员怎么办好呢？

☞ 彼はネットで稼ぎ捲くる成功者の一人である。/他是在网络上拼命挣钱的成功者之一。

☞ あの子はイヌに追いかけてられて必死で逃げ捲くった。/那个孩子被狗追地拼命地跑。

## 練習問題

問題一、次の文の（ ）に入れるのに最もよいものをA・B・C・Dから一つ選びなさい。

1. 突然名前を呼ばれて（ ）驚いた。

A すっと      B はっと      C ぱっと      D ぞっと

2. 真の意味での自由を知り、（ ）に生きる。

A 自在      B 自覚      C 自信      D 自力

3. 自分が好意を抱いている相手に、その（ ）を伝える。  
A マスク      B サイズ      C デザイン      D サイン
4. この電子辞書は携帯しやすいところが（ ）です。  
A 醤油      B 味噌      C 塩      D お酢
5. 汗かき（ ）で人前に出るのが恥ずかしい。  
A ずくめ      B まみれ      C まくり      D がち

問題二、次の文の（ ）に入れるのに最もよいものをA・B・C・Dから一つ選びなさい。

1. 母と大げんかをしてしまったので、家に（ ）帰りたくない。  
A なんて      B だらけ      C どころか      D ばかり
2. 彼女はとてもすばらしい人で、私なんかとても（ ）。  
A かないっこない      B かなうっこない  
C かなったっこない      D かなっているっこない
3. 夜中に電話してくるなんて非常識（ ）。  
A 極みだ      B 極まる      C 極まらない      D 極まりだ
4. 旅行した（ ）、お金を銀行に入れた。  
A ままで      B もので      C はずで      D つもりで
5. 教授の言ったことだ（ ）、真に受けてはいけませんよ。  
A としても      B といえば      C にしては      D ながらも
6. この湖は深さが15メートル（ ）あるそうだ。  
A とか      B でも      C まで      D ほど

## 第 22 課

### 私の父と母

私の家は代々薩摩の国に住んでいたので、父は他の血を混えない純粋の薩摩人と言ってよい。私の眼から見ると、父の性格は非常に真正直な、また細心なある意味の執拗な性質をもっていた。そして外面的にはずいぶん冷淡に見える場合がないではなかったが、内部には恐ろしい熱情をもった男であった。①この点は純粋の九州人に独得な所である。一時にある事に自分の注意を集中した場合に、ほとんど寝食を忘れてしまう。国事にでもあるいは自分の仕事にでも熱中すると、人と話をしていながら、相手の言うことが聞き取れないほど他を顧みないので、狂人のような状態に陥ったことは、私の知っているだけでも、少なくとも三度はあった。

父の教育からいえば、父の若い時代としては新しい教育を受けた方だが、②その根柢をなしているものはやはり朱子学派の儒学であって、その影響からは終生脱することができなかった。しかしどこか独自なところがあって、平生の話の中にも、その着想の独創的なのに、我々は手を拍って驚くことがよくあった。晩年にはよく父は「自分が哲学を、自分の進むべき路として選んでおったなら、きっと纏まった仕事をしていたろう」と言っていた。健康は小さい時分にはたいへん弱い子で、これで育つだろうか心配されたそうだが、私が知ってからでは強壯で、身体こそ小さかったが、精力の強い、仕事のよく続けてできる体格であった。仕事に表わす精力は、我々子供たちを驚かすことがしばしばあったくらいで

ある。芸術に対しては特に没頭したものがなかったので、鑑識力も発達してはいなかったが、見当違いの批評などをする時でも、父その人でなければ言われたいような表現や言葉使いをした。父は私たちが芸術に携わることは極端に嫌って、（③）軽文学は極端に排斥した。私たちは父の目を掠めて④それを味わわなければならなかったのを記憶する。

母の気性には闊達な方面とともに、人を吞んでかかるような鋭い所がある。人の妻となつてからは、当時の女庭訓的な思想のために、在来の家庭的な、いわゆるハウスワイフというような型に入ろうと努め、また入りおおせた。しかし性質の根柢にある烈しいものが、間々現われた。若い時には極度に苦しんだり悲しんだりすると、往々卒倒して感覚を失うことがあった。その発作は劇しいもので、男が二、三人も懸られなければ取り扱われないほどであった。私たちはよく母がこのまま死んでしまうのではないかと思ったものである。しかし生来の烈しい気性のためか、この発作がヒステリーに変わって、泣き崩れて理性を失うというような所はなかった。父が自分の仕事や家のことなどで心配したり当惑したりするような場合に、母がそれを励まし助けたことがしばしばあった。後に母の母が同棲するようになってからは、その感化によって浄土真宗に入って信仰が定まると、外貌が一変して我意のない思い切りのいい、平静な生活を始めるようになった。そして癲癇のような烈しい発作は現われなくなった。⑤もし母が昔の女の道徳に囚れないで、真の性質のままで進んでいったならば、必ず特異な性格となつて世の中に現われたらうと思う。

母の芸術上の趣味は、自分でも短歌を作るくらいのことはするほどで、かなり豊かにもっている。今でも時々やっているが、若い時にはことに好んで腰折れを詠んでみずから楽しんでた。読書も好きであるが、これはハウスワイフということに制せられて、思うままにやらなかったようであるが、しかし暇があれば喜んで書物を手にする。私ども兄弟がそろつてこういう方面に向つたことを考えると、母が文芸に一

つの愛好心をもっていたことが影響しているだろうと思う。

要するに、根柢において父は感情的であり、母は理性的であるように思う。私たちの性格は両親から受け継いだ冷静な北方の血と、わりに濃い南方の血とが混り合っていてできる。その混り具合によって、兄弟の性格が各自異なっているのだと思う。私自身の性格から言えば、もとより南方の血を認めないわけにはいかないが、わりに北方の血を濃く承けていると思う。どっちかといえば、内気な、鈍重な、感情を表面に表わすことをあまりしない、思想の上でも飛躍的な思想を表わさない性質で、色彩にすれば暗い色彩であると考えている。したがって境遇に反応してとっさに動くことができない。時々私は思いもよらないようなことをするが、それはとっさの出来事ではない。私なりに永く考えた後にすることだ。ただそれをあらかじめ相談しないだけのことだ。こういう性質をもって、私の家のような家に長男に生まれた私だから、自分の志す道にも飛躍的に入れず、こう遅れたのであろうと思う。

(有島武郎 [http://www.aozora.gr.jp/cards/000025/files/205\\_20494.html](http://www.aozora.gr.jp/cards/000025/files/205_20494.html))

## 質

## 問

問一 ①「この点」は何を指しているか。

1. 他の血を混えない純粹薩摩人。
2. 性格は非常に真正直な、細心なある意味の執拗な性質を持っていると同時に、外面的にずいぶん冷淡に見える場合が確かにあるが、内部的に恐ろしい熱情を持っている。
3. 一時にある事に自分の注意を集中した場合に、ほとんど寝食を忘れてしまう。
4. 外面的にはずいぶん冷淡に見える場合が確かにあるが、内部的には恐ろしい熱情を持っている。

問二 ②「その根柢をなしているものはやはり朱子学派の儒学であって」とあるが、儒学の核心思想を次から一つ選びなさい。

1. 調和と平和
2. 平等と自由